

令和4年度 茅ヶ崎市「市民討議会」報告書

テーマ：

「みんなで話そう Chiga×Tech（ちがてっく）

～デジタルで未来をより自由に豊かに便利に～」

茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会

目次

実行委員長あいさつ.....	1
1 市民討議会の実施概要.....	2
(1) 日程等.....	2
(2) 討議テーマと情報提供.....	2
(3) スケジュール.....	2
(4) 参加者内訳.....	3
2 市民討議会の討議のヒント.....	4
3 市民討議会の提言のまとめ.....	5
・討議 1.....	5
・討議 2.....	11
4 市民討議会を振り返って.....	16
5 アンケートの結果.....	18
(1) 事前アンケート.....	18
(2) 事後アンケート.....	21
(3) 不参加者アンケート 集計(有効回答数438).....	26
6 市民討議会講評.....	38
茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会の動き.....	39

実行委員長あいさつ

今（2022）年度、久しぶりに茅ヶ崎市「市民討議会」が開催されました。昨（2021）年度も同様の市民ワークショップは開催されたのですが、全面オンラインによる会議でした。それが今回、以前のように対面での話し合いが戻り、熱気にあふれた討議会となりました。ここに、その報告書をお届けいたします。

この討議会は9月11日（日）の午後、茅ヶ崎市役所で開催されました。全体テーマは、「みんなで話そう Chiga×Tech（ちがてっく）～デジタルで未来をより自由に豊かに便利に～」としました。「Chiga×Tech」という特徴的な言葉を掲げ、茅ヶ崎市のこれからのデジタル生活について、より斬新なアイデアを求めて意見交換をしていただきました。当日は抽選で選ばれ、参加を承諾して下さった30名のみなさまのご出席を得ての開催でした。会場での討議にご協力下さった市民参加者のみなさまに、あらためて、深く感謝申し上げます。

茅ヶ崎市の市民討議会は、①抽選で選ばれた方に招待状を発送し、②その参加者による話し合い（グループ・ディスカッション）の過程を含み、③そこで「話し合われた意見」をまちづくりに活用していくといった、「ルールがある話し合い」の仕組みです。それゆえに、複数の「わたし」の思いが交換され、やがて「わたしたち」の意見がゆるやかに構成されていきます。これが、個人による意見の伝達や、アンケートによる集計結果とは異なる、「もう1つ」の意見表明方法として注目される理由です。

だからこそ、市の担当者も、このような「話し合われた意見」は、個人の意見やアンケートの結果とどのように異なるか、どのような共通性があるかを見極めることができます。こうして、茅ヶ崎市の計画づくりに対し、市民の思いの多面的な把握が可能となることが期待されます。茅ヶ崎市では引き続き、本報告書とともにこれらの提案内容を検討し、採用可能なものは積極的に計画案に取り入れて下さればと思います。

そして、この場をお借りし、市民討議会を企画・運営して下さったみなさまにも、お礼を申し上げます。とくに、当日の情報提供では、渡辺順也先生（社会構想大学院大学）にたいへんお世話になりました。また、共催者の茅ヶ崎市、公益社団法人茅ヶ崎青年会議所、文教大学による協力体制と連携は、今回もとても良好でした。

末筆ではございますが、この討議会、そして本報告書が1つの意味あるスイッチとなって、これからの「Chiga×Tech」構想に、市民エネルギーがますます流れるようになることを願っております。そしてこれからも、市民討議会が茅ヶ崎市の「話し合い文化」としてさらに発展するならば、当実行委員会としてこの上ないよろこびでございます。

茅ヶ崎市「市民討議会」 実行委員長
文教大学 国際学部 山田修嗣

1 市民討議会の実施概要

(1) 日程等

ア 日 時	令和4年9月11日(日)	13時00分～16時00分
イ 会 場	茅ヶ崎市役所本庁舎4階	会議室2～5
ウ 参加者	30名	
エ 主 催	茅ヶ崎市	
オ 企画運営	茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会	(文教大学湘南総合研究所及び公益社団法人茅ヶ崎青年会議所で構成)

(2) 討議テーマと情報提供

- ア 全体テーマ
「みんなで話そう Chiga×Tech (ちがてっく)
～デジタルで未来をより自由に豊かに便利に～」
- イ 個別テーマ
討議1『わたしの「デジタル」』
討議2『「ちが×テック」でステキなまちへ』
- ウ 情報提供者
足立 悠 (茅ヶ崎市デジタル推進課 職員)
渡辺 順也 (株式会社イノベーター・ジャパン 社長)
- エ 情報提供
討議1「みんなで話そう Chiga×Tech (ちがてっく)
～デジタルで未来をより自由に豊かに便利に～」
討議2「海外のステキな事例」

(3) スケジュール

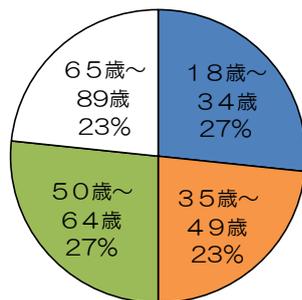
13:00	開会、市長挨拶、主催挨拶、実行委員長挨拶
13:05	市民討議会の概要とテーマの説明
13:20	情報提供①
13:30	グループ討議①
14:10	【休憩】
14:20	情報提供②
14:30	グループ討議②
15:10	【休憩】
15:15	グループ討議内容発表
15:35	1日の振り返り
15:45	閉会

(4) 参加者内訳

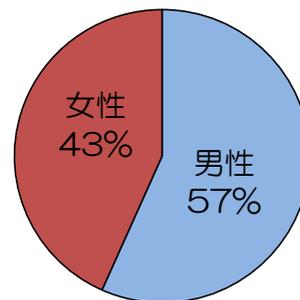
令和4年度第茅ヶ崎市「市民討議会」の参加者内訳

	抽出数	参加者数		
		男性	女性	合計
18歳～34歳	1000	4	4	8
35歳～49歳	600	3	4	7
50歳～64歳	350	5	3	8
65歳～89歳	250	5	2	7
合計	2200	17	13	30

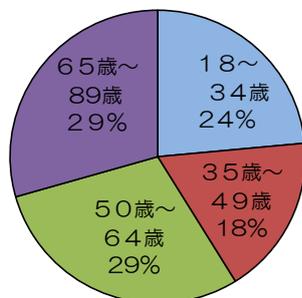
参加者年齢層



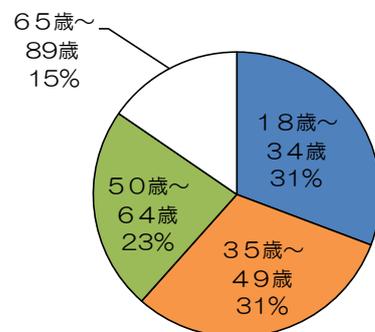
参加者男女比



参加者年齢層（男性）



参加者年齢層（女性）



2 市民討議会の討議のヒント

(1) 討議1『わたしの「デジタル」』

内容	討議のヒント・きっかけ
自己紹介	お名前、お住まい（地区）、討議会への期待
わたしのデジタル自慢/小話	みなさんの「デジタル」にまつわるお話（エピソード）について
「デジタル」と日常生活	身近な生活でデジタルはどのように関係しているか、デジタルに関するどのような変化があったか

(2) 討議2『「ちが×テック」でステキなまちへ』

内容	討議のヒント・きっかけ
ちが×テックを活用できるもの・ことは何か	「私の身の回りの変化」の話題をふまえ、新しい仕組みを用いて「わたしたちの社会やまち」の変化をもたらすとしたら、何を変えてみたいか

3 市民討議会の提言のまとめ

・討議 1

討議 1 では、わたしの「デジタル」感覚を討議。

身の回りのデジタルと聞いて何を連想するか、身近な生活で、デジタルはどのように関係しているかを話し合う。

具体例をあげながら最後にこれから期待できることを討議。

グループ「1」	グループ意見
(1) デジタルにまつわるエピソードや生活の中で、デジタルはどのように関係しているか。	<p><身近な生活の例>授業/仕事をオンラインで受ける（テレワーク）、PCを使用しメールやインターネット検索、アレクサ→TV/電気の操作、スマートウォッチ、小学校の授業でタブレット使用、LINE でやり取り、医療現場、Google カレンダー、Twitter/Instagram が使いやすい</p>
(2) (1) の話題を踏まえてこれから期待できることは、何があるのか。	<p><期待>医療現場でAIを有効活用できること、スマートウォッチが海外の場所によって現地時間になること、グループ LINE、Google カレンダーで日程共有ができる、全ての手続きがオンライン、写真の撮り直し/見返しが簡単</p> <p><不安>通信障害が起きた際には公衆電話（アナログ）が必要、知っている人にとっては常識、デジタル化が避けられない（デジタル化していいのか）、デジタルを使いたくない人への配慮、フォローが困難、アナログ派とデジタル派の間でギャップが生まれる、PC を持てる人と持てない人で差が出る→注意事項を怠らない、HP の調整、人間形成に困る、カメラにはフィルムの良さがあつた（が、なんでもスマホで完結してしまう）、アナログは考える要素があつたが、デジタルに独自性がない、Google カレンダーに予定を入れ忘れると自己責任（頼りすぎてはいけない？）</p> <p><不安&期待>分からないことは多いが利便性を求めてデジタルを使いたい、両方の意見を大切に、梯が必要、普及のさせ方はどうするのか、デジタルに抵抗がある人に向けてどうすれば良いか/強制するのか</p> <p><分かりづらさ>PC データの移行、管理者のアドレスが必要、知らないことが多い</p>

グループ「2」	グループ意見
(1) デジタルにまつわるエピソードや生活の中で、デジタルはどのように関係しているか。	<p><身の回りのデジタル>電子決済、料理レシピ、携帯電話、インターネット検索、YouTube、音声検索</p> <p>きっかけ：携帯電話をスマホに変え、電子決済を知った→スマホの利用が増えた、小中学生はうまく入力できないため音声検索を利用する</p> <p><不安>デジタルの普及により文字が書けなくなる、ウイルス、スマホを落としたときが心配、IDやパスワードを忘れてしまう、クレジットカードの不正利用、デジタル難民になり何を聞いたらよいのか分からない、自分が取り残される恐怖</p>
(2) (1) の話題を踏まえてこれから期待できることは、何があるのか。	<p>検索の幅が広がり、生活が充実する（例：料理のレパートリーが増える）、どこにでもフリーWi-Fiがあれば災害時の放送や防災連絡が聞きやすく、伝わりやすい、学校の欠席連絡をアプリで行う→先生の負担が減る、個々で分からないことが異なるためデジタルについての学習の機会を設ける</p>

グループ「3」	グループ意見
(1) デジタルにまつわるエピソードや生活の中で、デジタルはどのように関係しているか。	<p><身近なデジタル>SNS(インスタ・Twitter)支払い（キャッシュレス・suica など）、連絡（家庭・会社）、テレワーク、オンライン授業、予約（ホテル・美容院）</p> <p>分からない・不安：ウイルスが怖い、故障/通信環境、年代ごとのスキルの差</p> <p><興味・関心>SNS（インスタ）、エクセル、神奈川PAY（電子決済によるサービス）</p>
(2) (1) の話題を踏まえてこれから期待できることは、何があるのか。	<p>デジタル化するときどんな環境が必要かという情報が必要。その情報に簡単にアクセスできるようになると良い。相談窓口などが市としてであると良い。</p> <p>会社では毎月一回 Web ラーニングなどでセキュリティの対策などを学んでいる→市でもそういった Web 講座などを定期的に発信して困りごとを解消できるようにしてはどうか。</p> <p>デジタルの選択肢が増えすぎると、デジタルが使えなくなった時に（別のデジタル手段もしくは）アナログの代替手段（バックアップ）などが無いと混乱を生む。←市で統一？・シンプルな方法があると良い</p> <p>デジタル化に一步を踏み出せない方々の後押しをできるような仕組みがあると良いと思う。→デジタルキャンペーンなど</p>

グループ「4」	グループ意見
<p>(1) デジタルにまつわるエピソードや生活の中で、デジタルはどのように関係しているか。</p>	<p><身近な生活の例> 日常的にスマホを使っている、機能を活用しているかは疑問、SNS (LINE 等) は利用、ツイッターを開始、身近なものはほとんどデジタル製品 コロナ前からリモートワーク、長時間のリモート会議も経験、仕事の合間に家事をすることもある、子供と過ごす時間が増えてよかった、コロナ後もリモート勤務、茅ヶ崎に住みながら（居ながら）勤務できるのは理想の生活 コロナ以降は施設予約もデジタル化され難しい、二次元バーコードもよくわからない、家族に手伝ってもらっている、人に手伝ってもらうのがかえって不便、日常生活では紙や現物のやり取り（支払いや振り込み等）がメイン</p>
<p>(2) (1) の話題を踏まえてこれから期待できることは、何があるのか。</p>	<p><期待> 「デジタルに明るい」まちになればよい、デジタルでもうちょっと便利になるといい、これらが茅ヶ崎のアピールとなるはず、コロナワクチンの予約なども含めてもっと便利な生活に期待 市内にフリーワークスポット・フリーWi-Fi スポットやフレキシブルオフィス等が増えるとよい、市内の映えスポットにフリーWi-Fi が必要（来場者の傾向分析にもなる）、若い世代にむけたデジタルサービスがあればよい、公民館に時間貸しワークスペースを作ってはどうか 交通サービス改善につながるデジタル化も必要 自治会の案内（掲示板や回覧板など）をデジタルに、実物の掲示板はスペースによって掲載量が左右される、デジタルならその心配がなくいつでもお願いできる、回覧板も見る時間や送り渡す時間を取りづらい、デジタルならそれらを節約可能</p> <p><不安> デジタル化についていくハードルが高い、身近なデジタル化のためにはお金（設備や先行投資など）が必要、デジタルでのお金のやり取りは不安 あれば便利でも使えない人がいるとかえって問題、自分にはついていけないと感じる、デジタル化への危機感を少なくし積極的な気持ちを醸成すべき、デジタルに付着する怖い・悪いイメージを払拭すべき</p>

グループ「5」	グループ意見
<p>(1) デジタルにまつわるエピソードや生活の中で、デジタルはどのように関係しているか。</p>	<p><身の回りのデジタル>携帯電話（ガラケーとスマホ）、ネット予約（例として施設・ワクチン・マイナンバーが挙げられた）、ICTやDX/電子マネー/zoom/ゲーム/LINEを始めとしたSNS</p> <p><不安>年齢層によっては逆に不便になる、そもそも扱いが難しい・情報が多すぎてわからない（知らない）、個人情報の漏洩（←マイナンバーの普及にもリスクとして影響しているのでは？）、セキュリティの面から考えるとカードを持っている事自体も怖い（体にチップ埋められる方が不安は少ないのでは？）、コミュニケーション不足になる（オンラインだと会話が續かない・コミュニティーが出来づらいのでは？）、体を動かす機会が減少する/SNSだと文字だけではわからない感情を読み取ることが出来ない、SNSによる殺人・既読スルーによるいじめ・ネット犯罪、知らない人と繋がる怖さ、デジタルに関する用語がわからない（知識不足といった問題点）、デジタルを活用しようとしても手続きが難しい</p>
<p>(2) (1) の話題を踏まえてこれから期待できることは、何があるのか。</p>	<p><期待できること>デジタル地図や駅や病院の混み具合がリアルタイムでわかるシステムに応用できるのではないかと、運転免許証や健康保険証等を一つにまとめるシステム、メタバース空間（デジタルについて分からない点が多い為）不安が大きいものの同時に期待する点もある：全てをデジタルにするべきではない、デジタルにするべき所とそうではない部分の分け方が非常に大事、デジタルを活用したサービスを普及させる為には、安全性や詳細な情報について積極的に市などが発信して欲しい</p>

グループ「6」	グループ意見
<p>(1) デジタルにまつわるエピソードや生活の中で、デジタルはどのように関係しているか。</p>	<p><身近な生活の例></p> <p>スマートフォンを使う、デジタル機器のメモ機能を多用（漏洩には注意している）、SNSを使う、デジタルは自分の必要性にあわせて使い分ける、Googleの各種サービスを利用、(旅行などの)写真や情報のシェアは便利、YouTubeをよく見る、ゲームをする</p> <p>仕事で使う（在宅勤務も重なる）、会議や打ち合わせに利用、仕事の情報交換にSNSを使う、仕事でAIをあつかっている、仕事でデジタル機器を多用</p> <p>学校の教材や資料をダウンロードして使用、教科書等は持参せず電子端末に入れる、オンライン授業を実際に経験、学校の研修や親睦会はオンラインと対面の両方で行われる</p> <p>デジタルが身近になりアカウント取得数が増えた、アカウント情報を覚えておくのに写真（現物）を活用している</p> <p>インターネットは個人ではあまり使わない、誰かに手伝っても</p>

	<p>らってネットを使うことはある（例：趣味の情報を入手）、実際には紙や手書きの情報が慣れていて信用できる、自分が使っていても相手が使わないと通信できないので不便</p>
<p>(2) (1) の話題を踏まえてこれから期待できることは、何があるのか。</p>	<p><期待></p> <p>デジタル化の進展が楽しみ、市内でデジタルのかかわりをもっと持ちたい、デジタルは良いコミュニケーションツール、デジタルにたいする違和感をなくすべき、家族構成の縮小ゆえ身近に人と知り合えるサービスがほしい、多様な世代の人とつながるプラットフォームを作りたい、市民団体、市民活動、地域サークル、近隣関係、子育てなどの情報交換をしたい</p> <p>デジタルで生活にプラスを提供、茅ヶ崎にいたままさまざまな人と会う、茅ヶ崎の多様な情報を交換（例：食事）、離れて暮らす家族とも気軽に会える、仲間と気軽にデジタル旅行に行く（セカンドライフも充実）</p> <p>オンライン勤務なら茅ヶ崎居住を選択可能、どこにいても会議可能（移動中でも可）、海を見ながら仕事が可能（現状にも満足）、仕事と遊びの境界が良い意味でなくなる、けじめやメリハリを大切に仕事と日常生活の充実、オンラインの話し合いがますます便利に多方面に活用可能に</p> <p>小学生のランドセルが軽くなる（教科書や資料が多い重いランドセルは反対）</p> <p><不安></p> <p>パスワードを忘れやすい、アカウントという言葉がよくわからない、デジタルの世界のスピードについていけない不安</p> <p>デジタルは漏洩などの不安が増す、対外秘の情報をオンラインで扱うのは心配、費用と直結（安いサービスは「安いもの」だから）、信頼性が低い、課金やセキュリティ面への不安</p> <p>デジタル会議より Face to Face が大事、オンライン会議は音質や画質が悪い、表情が見えず不便、遊びの合間に仕事や会議を入れると嫌がる人がいる（人により、オンライン業務の方法や理解が異なる）、仲間や同僚との関係によりデジタルの使い方が異なる（まじめさやフランクさの感覚の違いがわかりにくい）</p> <p>テレワークができる仕事とできない仕事がある（仕事理解の難しさ）、テレワーク中は家の中でのコミュニケーションが難しい、対面仕事の重要性も再確認すべき</p> <p>学校や会社への所属意識や所属感が低下しそう、もっとかかわりを持つべき、学校の授業はオンラインより対面の方がよい、学生のオンライン化の評価は悪くないが教員側は説明が難しそう</p> <p>仲間との会話は画面越しよりも電話の方がよい、画面付きの通信は恥ずかしく感じる、離れて暮らす親との対話は恥ずかしい、</p>

	<p>若者の方がカメラ慣れしている感じ</p> <p>デジタル化でかえって現物への感覚が強くなった（カードやリアル製品の価値が増す、本はやはり紙がよい）、さまざまな物事をデジタル情報として流通させることでもっと選択が簡単になる</p>
--	---

・討議 2

討議 2 では、「ちが×テック」で素敵なまちへと題して「ちが×テック」を活用した「まち」について討議。

「ちが×テック」を活用できるもの・ことは何か、「ちが×テック」をつかったまちで暮らすと生活はどのように変わると思うかを話し合う。

最後に「ちが×テックをつかった近未来の茅ヶ崎」をイメージしてまちの将来像を討議。

※「ちが×テック」とは、デジタル技術をつかって、私たちの茅ヶ崎ライフをもっと豊かにしようという造語。

グループ「1」	グループ意見
<p>(1)「チガ×テック」活用できるもの・こと 「チガ×テック」でどのように生活が変わると思うか。</p>	<p><教育>分からない人向け（年齢関係なく）のデジタル講習、取り残さない→回覧板やインターネットで知らせる、地区ごと、ギャップを感じる人向けの再教育 <医療>アップルウォッチの脈拍機能が福祉に使える（結局、医療は人がいないと不安であるため全てデジタルは×） <見守り>一人暮らしの家にセンサーを付けて見守り（プライバシーとの兼ね合い大事）高齢者を地域で見守る <自治体窓口>管理者によるアプリの導入、市役所に行かなくてもいい仕組みで時間を有効活用、住みやすい街にするための手段、市HPでデジタル系を教えてくれる人（自治体・市民から）を募集、待ち時間を無くすためにモバイルオーダーのような予約システムを作る、住民票を取りに行く手間を省く、住民サービスのデジタル化 <課題点>プライバシーはどこまで？ 分かる人・分からない人のギャップを埋める、どの部分をデジタル化にするか（単純なことをデジタル化？）、対面の価値観は異なる、仲介業者を増やす（仲介業者の利益を出す）、（市役所などに）来なくていい人を来るようなことがないように</p>
<p>(2) ちが×テックをつかった近未来の茅ヶ崎の将来像。</p>	<p>「人を大切にするまち」 人の幸せ（病気を治す）・目的を共有しあう、どのようにデジタルを使っていくか、IT化を目的にすると人が犠牲になる（ため、その塩梅が必要）</p>

グループ「2」	グループ意見
<p>(1)「チガ×テック」活用できるもの・こと 「チガ×テック」でどのように生活が変わると思うか。</p>	<p><教育>連絡帳を廃止し、コミュニケーションアプリに変える/入学に必要な書類リストなどをパソコンやスマホなどで情報共有 <病院>LINEで医師と相談、診療/オンライン診療 <神奈中バス>検索する際にコミュニティバスも一緒に検索できると良い <防犯>独身世帯高齢者の生存確認（セコム、アルソックなど）</p>

(2) ちが×テックをつかった近未来の茅ヶ崎の将来像。	衣食住は必ずリアル（対面）で行う。すべてをオンラインで行おうとせずに、人とのつながり、交わり、コミュニケーションを大切にする。セールスポイントが多い茅ヶ崎を発信し、経済効果を生み出す。
-----------------------------	--

グループ「3」	グループ意見
(1) 「チガ×テック」を活用できるもの・こと 「チガ×テック」でどのように生活が変わると思うか。	<p><市役所の仕組み>ワクチン予約サイト・マイナンバー登録・受付の待ち時間が見られるアプリ 避難所の混雑状況アプリ→市民目線で分かりやすくシンプルなシステム</p>
(2) ちが×テックをつかった近未来の茅ヶ崎の将来像。	<p><自治体窓口>待ち時間が多いので予約システムの導入（モバイルオーダーを例に）→時間を有意義に使える、市役所の混雑状況が分かるようにしてほしい（アプリやHP）→空いている時に窓口にいける、住民サービスのデジタル化→住民票などを取りに行く手間がなくなる仕組み、市役所に行かなくてもいい仕組み→時間の活用がしやすくなる、自治体職員もデジタル講習が必要になるのでは（時間をかけて職員も市民も教育していく必要がある）、 <茅ヶ崎の魅力>ガイド付き自転車の貸し出し→アプリで案内・市民、観光客に魅力を知ってもらう ネットでふるさと納税の募集→地元の飲食店の券・茅ヶ崎＝海→釣り竿？サーフボード？ 「一生住みたいみんなにやさしい茅ヶ崎」:情報格差を是正できるような仕組みを行政などで提供していくような仕組みを作る。市民で勉強会、通信環境が充実（市のどこにいても繋がりやすい）、ネットが使いやすい→若者が増える</p>

グループ「4」	グループ意見
(1) 「チガ×テック」を活用できるもの・こと 「チガ×テック」でどのように生活が変わると思うか。	<p><活用可能性> 観光への応用 → VRの観光への活用、大河ドラマの話題やその資源をデジタルで活用、地域通貨にも応用 健康管理のデジタル化（見える化）、エッセンシャルワークのデジタル化 ごみ収集への活用（分別のデジタル化、アプリ化、収集車到着表示や通知など） 施設や移動手段の空席情報 デジタルでも対面でも人が集まるまちづくりへ（寝たきりでも人と会える等）</p>

	<p><必要な対策></p> <p>デジタルの不安がないまちへ → 取り残される人がいないよう格差の改善（とても重要）、さまざまな年代にたいしデジタルに触れるハードルを下げる工夫、行政はデジタル化についていくのが難しい人たちへの幅広い（知識や金銭的）支援を、災害時に困ることがないように（現状、災害対応サービスがデジタル化）</p> <p>私たちも（仕事でも日常生活でも）さまざまなデジタルの勉強をしないとイケない、普及のためにデジタル教育が不可欠、その年代にふさわしいデジタル教育が必要</p>
<p>(2) ちが×テックをつかった近未来の茅ヶ崎の将来像。</p>	<p><将来像></p> <p>人が集まるまち → 観光と「テック」の接続、デジタル教育の現場も「集まることができる場所」、最先端機器の貸し出しもきっかけに人を集める、デジタル化を住民・企業・研究所の誘致や観光策へ（増収から投資へ）、魅力のデジタル発信で茅ヶ崎の価値が高まり活気あるまちへ</p> <p>人が住みやすいまち → さまざまな地域課題の解決へ、積極的な情報発信によりコミュニケーションを活発に、リアルとバーチャルのほど良いバランス、リタイヤ後も集まることができる、誰もが安心して暮らすことができるデジタル化→住民票などを取りに行く手間がなくなる仕組み、市役所に行かなくてもいい仕組み→時間の活用がしやすくなる、自治体職員もデジタル講習が必要になるのでは（時間をかけて職員も市民も教育していく必要がある）</p> <p>茅ヶ崎の魅力：ガイド付き自転車の貸し出し→アプリで案内・市民、観光客に魅力を知ってもらう</p> <p>ネットでふるさと納税の募集→地元の飲食店の券・茅ヶ崎＝海→釣り竿？サーフボード？</p> <p>「一生住みたいみんなにやさしい茅ヶ崎」：情報格差を是正できるような仕組みを行政などで提供していくような仕組みを作る。市民で勉強会/通信環境が充実（市のどこにいても繋がりがやすい）、ネットが使いやすい→若者が増える</p>

グループ 5	グループ意見
<p>(1)「チガ×テック」を活用できるもの・こと 「チガ×テック」でどのように生活が変わると思うか。</p>	<p>活用できること・もの、生活の変化 職場：会社の明細や源泉徴収をアプリ等で分かるようにして欲しい（誰でも簡単に出来る仕組みにして欲しい・今現在このシステムを有効に活用する事が出来ていない（仕組みがわからない）人も理解できるわかりやすい説明が必要） 日常生活：AI チャットの活用（または相談できる AI を作って欲しい）→OK 茅ヶ崎/バスに乗る為に詳細な情報→到着時間や「今現在～のバス停を出ました」といったリアルタイムの情報（スマホがない人でも見る事が可能な情報）、地域の掲示板、市役所に書類を提出した際に生じる待ち時間に見ることが出来る地域の配信（お店の情報等）、携帯のキャリア等を選ぶ際にタッチパネルを活用して欲しい（→範囲が広く自分で情報を選択するのが難しくなっている→タッチパネルの方が選択肢を絞りやすい）、まず目で見える情報が欲しい 課題：市民と行政がきちんと連携できるような仕組みづくり（土台）が必要/行政のサービスとして教室を開いて欲しい（＝時代についていけない人への配慮が重要）、出来ない人に教えあえるような関係性（市民から全市民に発信できるような仕組み）を作り出す事が大切</p>
<p>(2) ちが×テックをつかった近未来の茅ヶ崎の将来像。</p>	<p>「フランクなAIを目指そう」 いろんな世代の方が平等に楽しく・豊かに生活出来る・アイデンティティーを崩さずに茅ヶ崎らしさを出してのんびり過ごせる街平等→デジタルについての教室を開く（＝スマホを持ってない方も情報に取り残されることなく生活をする事が出来る仕組み）</p>

グループ「6」	グループ意見
<p>(1)「チガ×テック」を活用できるもの・こと 「チガ×テック」でどのように生活が変わると思うか。</p>	<p><活用可能性> 茅ヶ崎の特徴につながるコミュニティやコミュニティ生活の充実、コミュニティの良さが茅ヶ崎らしさとなる、これをデジタルが手助けするイメージ、さらに市がこれをサポートする、コミュニケーションの活発化、コミュニケーションがもっとおもしろくなる 仕事の後に茅ヶ崎での友達付き合いができる、趣味の関心の充実、常連の関心の形成、茅ヶ崎のウリをアピール（例：海、山、遊び上手、サーフィン、生活を楽しむ余裕、食事の豊かさや安さ、交通の便利さ、都心へのアクセス、仲間感覚、スローライフ） <必要な対策> 私たちがデジタルとともにある暮らしに慣れる必要がある、デジタル化で自分自身の管理がしやすくなる、デジタル機器の貸し</p>

	<p>出しサービスが必要、LINE の使い方やアカウントのつくり方を手助けする仕組みがほしい、</p> <p>茅ヶ崎らしいスローライフはデジタルとどのように結びつくか検討すべき</p>
<p>(2) ちが×テックをつかった近未来の茅ヶ崎の将来像。</p>	<p><将来像></p> <p>介護や福祉の充実へ → 健康づくりのため外出（散歩など）をうながす仕組み、気軽に運動ができる仕組み（散歩の歩数にインセンティブがつく等）、外出が楽しくなるアプリ、免許返納時に電動自転車の割引券等を配信するといったインセンティブの仕組み、介護充実や障がい解消のためのマッチング、誰でも気軽に助けを求められるマッチング、視覚障害の不安解消システム、困っている人を気軽にサポートできる仕組み</p> <p>精神面の情報の可視化 → 茅ヶ崎の風土や自然をデジタル化してもっとアピール（茅ヶ崎をよく知ってもらい、好きになってもらう）、市民の気分転換やリラクスの実態を意味化・数値化、リフレッシュできる（疲れやストレスを癒し、また頑張るための）情報を発信、人間（もペットも）の機能回復ができることを示す情報の発信、</p> <p>人と人の関係への活用 → 「ありがとう」や感謝の可視化と交換システムでよい循環が生まれる、暇つぶしが何かの役に立つ仕組みをデジタルで実現（例：ありがとうポイント＝誰かに感謝されることをする、子供が大人から褒められることをすると付与され市内で使える、これを寄付で充当）</p> <p>茅ヶ崎を楽しむ方法の充実 → VR で茅ヶ崎の海辺を体験、景色もおいも感覚も感じられるように、ペットと散歩を楽しむ、余暇の充実のためのシステム化、趣味でつながる関係の支援、趣味の情報を検索しやすくし情報を充実させる</p> <p>課題解決 → （使いやすい、空気がわかる）駐車場や駐輪場、自転車等のレンタルシステム、パークアンドライドを簡単に、自転車等の安全・マナー講習のデジタル化、自転車の CO₂ 削減効果の表示、道路や駐輪場などの混雑情報の提供、学生の活力を地域ボランティアにつなげる情報提供</p> <p>さまざまなアイデアを茅ヶ崎限定のトライアルとして実現させてみてはどうか、市民の責任感も高まるはず、デジタルならではの新しい関係が形成される可能性がある、住みやすい街になる</p>

<執筆・編集>

柴田春菜、市川美空、川口祐美、小池彩佳、水口裕菜、澤田宣夫、山田修嗣

4 市民討議会を振り返って

文教大学 学生スタッフ

1. 感想

自分では思いつかないような意見ばかりで、とても刺激的でした。また、市民の方々が、茅ヶ崎市が好きだということを感じ、うらやましく思いました。自分の地元も改善していくべきだと思いました。

参加者は無作為に抽出されたため、もしかすると渋々といった気持ちで来場されたのではと心配しましたが、実際は、みなさんが楽しく取り組まれていてとても良かったです。

討議会に参加することができ、とても勉強になることが多くありました。実際に市民の方々の声を聞くことができる集まりに、これからも積極的に参加したいです。

思っていたよりも積極的に市民の方々が話し合われていて、濃い時間にするのができたと思えました。自分自身も書記の練習をしてきたので、その成果として、発言メモをたくさん書くことができました。

本日、討議会に参加して、市民がみんなで自分の地域について話し合う大切さを感じました。話し合うことで、地域の価値再発見やコミュニティの広がりにもつなげることができ、とても良いと思えました。年代も分けずに話し合うことで、刺激的な意見も聞くことができ、貴重な体験ができました。

今回、市民の方の実際の声を聞いて、市民の方一人一人が自分の住む地域に対する熱い思いを持っているということを実感できました。この経験を、今後の学びに活かしていきたいです。

普段は学生として、また、一市民としてこのようなお話を聞いたりしていますが、運営側として参加させて頂き、とても良い経験となりました。ありがとうございました。

初めて市民討議会に参加してみて、市民参加のすばらしさを感じることができました。デジタル化に向けての要望が出る中で、その中に茅ヶ崎らしさを残したいという想いがあったことに、市政の良さを感じました。

2. 改善点として気づいたこと

書記が2人いたため、付箋に書く内容が重複してしまうことが多かったです。事前に話し合い、書記の役割を決めておけばよかったと思えました。

参加者のみなさんに、自分の話したいことを満足いく形で話していただくため、アイスブレイクにかかる時間をもっと長くしてはどうかと思えました。

他の班との交流や意見の交換が積極的に行われるなど、話し合い機会の工夫がもっとあればよいと感じました。

今回、グループの司会者が効果的に話題を振って下さったので、スムーズな話し合いが進められました。参加者のみなさんも、「やりやすい」と感じたと思います（他のグループも同様でしょうか？）。

改善点としては、模造紙上にもっとキーワードを使って整理する必要があり、付箋の色分けをうまく活用すべきだと感じました。また、司会のほかにタイムキーパーをおいてはどうかと思えました。

ある話題に対し、特定の人が話すという場面があったので、もう少し別の人に話を振るなどの工夫で、いろいろな意見が出ると思いました。

デジタルの話をする討議会だから、デジタル機器をもっと使えばよかったのではないかと思いましたが、参加された市民の方もそうおっしゃっていました。

書記をつとめました。もっと単語で簡潔に書くことができれば良かったと思いましたが。

3. 期待すること

討議会で話して下さった内容が実際に採用され実現されるなら、多くの市民がより幸福に暮らせると思い、そのように願っています。

このような討議会に参加したことが初めてで、刺激的でした。地元にもこのような討議会があればいいなと思いました。

多くの人たちに、このような討議会に参加できる機会が増えてほしいです。

今日出た意見が、実際に茅ヶ崎市の方に提案として渡り、採用されることを期待します。また、市民の方々も茅ヶ崎を好きで、暮らしやすいと感じられるまちづくりができるといいと考えていたため、将来、そのようになって欲しいです。

今回の討議で出た案が、市に活用されてほしいです。

このような機会は、市民の方のコミュニティ形成の場となっているようだったので、今回できたコミュニティが一時的なものになるのではなく、長く続く地域コミュニティになって欲しいと感じました。

茅ヶ崎が好きなので、より良いまちになっていくのを期待しています。

市民の方もおっしゃっていたように、少しでも多くの市民の意見が計画に反映されて、「デジタル化が全国でも進んでいる茅ヶ崎市」になればいいなと思いました。

5 アンケートの結果

(※自由記述については一部意見をまとめて集計している)

(1) 事前アンケート

(※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しない)

【参加者の属性について】

設問 1, 職業 (○は1つ)			設問 2, 家族形態 (○は1つ)		
①	農業・漁業	0	①	単身	3
②	自営業・経営者	3	②	(自身の)夫婦のみ	9
③	自由業	2	③	未婚の子どもと同居	7
④	家事手伝い	0	④	既婚の子どもと同居	0
⑤	公務員・団体職員	1	⑤	親世代と同居	9
⑥	専門技術職	1	⑥	三世代以上が同居	0
⑦	事務職	0	⑦	その他	2
⑧	販売・サービス職	3			
⑨	製造・労務職	1			
⑩	パート・アルバイト	5			
⑪	家事専業	0			
⑫	学生	2			
⑬	無職	3			
⑭	その他	4			

設問 1, ⑭その他
○情報サービス業
○警備職
○教員

設問 2, ⑦その他
○夫婦と孫が同居 3人
○親戚と同居

設問 3, 住居形態 (○は1つ)			設問 4, 市内での居住年数(⑥については重複可)		
①	持ち家 (戸建)	20	①	1年未満	0
②	借家 (戸建)	1	②	1年～5年未満	4
③	集合住宅 (分譲)	2	③	5年～10年未満	1
④	集合住宅 (賃貸)	5	④	10年～20年未満	5
⑤	公営住宅	0	⑤	20年以上	15
⑥	社宅	0	⑥	生まれてからずっと	7
⑦	その他	2			

設問 3, ⑦その他
○親名義の集合住宅持ち家

設問 5, 茅ヶ崎での定住の意向 (○は1つ)		
①	住み続けたい	17
②	できれば住み続けたい	7
③	できれば転出したい	0
④	転出したい	0
⑤	わからない	5
⑥	その他	1

設問 6, 平日の平均在宅時間(睡眠時間を除く) (○は1つ)		
①	2時間未満	0
②	2~4時間未満	3
③	4~7時間未満	10
④	7~12時間未満	9
⑤	12時間以上	7
⑥	その他	1

【参加の動機について】

設問 7, 市民討議会の手紙(参加依頼)が届いて、どのように感じましたか (いくつでも○)		
①	面白そう	14
②	良い取組	10
③	新しい取組への期待	10
④	選ばれてよかった	7
⑤	なぜ討議をするのか不明	2
⑥	実際に何をするか不安	4
⑦	つまらなそう	1
⑧	とくに感想はなかった	2
⑨	その他	0

設問 8, なぜ討議会への参加を決意しましたか (いくつでも○)		
①	市民討議会に興味深かった	17
②	テーマに興味深かった	7
③	日程的に都合がよかった	5
④	市のために協力したかった	5
⑤	市民の役割として大切だと思ったから	9
⑥	新しいことにチャレンジしたかった	10
⑦	市から手紙が届き参加しなければならぬと思った	4
⑧	日頃から市に言いたいことがあった	2
⑨	その他	3

設問 8, ⑨その他

- せっかくの機会なので
- 仕事なので

設問 9, 謝礼の必要性について、どのようにお考えですか (○は1つ)		
①	必要だと思った(参加はするが 必要と感じた)	9
②	不要だと思った	16
③	その他	4

設問 9-1, 【設問 9】で①を選択した方は、どの程度の謝礼が望ましいと思いますか (○は1つ)		
ア	謝礼 1000 円	1
イ	謝礼 3000 円	4
ウ	謝礼 5000 円	1
エ	謝礼 10000 円	1
オ	謝礼品 1000 円程度	1
カ	謝礼品 3000 円程度	1
キ	謝礼品 5000 円程度	4
ク	謝礼品 10000 円程度	1

設問 9, ③その他

- どちらでもよい
- いただけるなら頂きたい
- あったら嬉しい
- 市がどれだけ市民が参加したいと思える環境を作るか次第

設問 10, 茅ヶ崎市が実施している次の情報化施策のうち、利用したことがあるものを選択してください。(いくつでも○)

①	施設予約システム	7
②	公衆無線 LAN	2
③	オープンデータ	2
④	ちがさきメール配信サービス	4
⑤	AI チャットボット	1
⑥	動画配信	0
⑦	市の公式 LINE	7
⑧	電子申請・届出サービス	8
⑨	地理情報システム (まっぷ de ちがさき)	2
⑩	マイナンバーカードを活用したコンビニ交付サービス	3
⑪	市役所窓口における手数料のキャッシュレス決済	2
⑫	どれも利用したことがない (1 2 を選択の場合、その理由をア～エのいずれかを選択)	7

設問 10, どれも利用したことがない理由

ア	実施していることを知らなかった	8
イ	実施していることは知っていたが、必要がなかった	2
ウ	利用したいが機能が不十分で使えなかった	1
エ	その他	2

設問 10, エその他

- 中には知っているものもあったが、必要がなかった
- 知っていても使うかは不明使いやすければ…
- 実施していることは知っているが、安全性を考えると自分の技能・知識と設備・性能(サーバー攻撃など)に不安がある

(2) 事後アンケート

(※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しない)

設問 1, 今回の市民討議会について感想や印象をお聞かせください (○は1つ)		1	2	3	4	5
		そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えない	そう思わない
A	市民討議会はおもしろかったですか	25	5	0	0	0
B	討議会の進め方はわかりやすかったですか	24	5	0	0	0
C	進め方に関する説明は十分だと思いましたか	23	5	2	0	0
D	アイスブレイクで話しやすくなりましたか	18	10	1	0	0
E	各回の情報提供で、討議がおこないやすくなりましたか	21	7	2	0	0
F	討議1のテーマは、話しやすかったですか	24	6	0	0	0
G	討議2のテーマは、話しやすかったですか	20	9	1	0	0
H	討議を通して自分の考えが深まりましたか	16	11	3	0	0
I	グループ発表は、全員の意見が十分反映されていまいましたか	22	6	1	0	0
J	各班の討議報告で、他の参加者の意見がわかりましたか	20	8	2	0	0
K	市民討議会は市民の声を反映させるのに有効な手法と感じましたか	16	9	4	1	0
L	討議に参加して、市民が「まちづくりの主役」という印象が強まりましたか	14	12	4	0	0

設問 2, グループごとの話し合いは、円滑に進みましたか (○は1つ)		
①	円滑に進んだ	25
②	やや円滑に進んだ	5
③	どちらとも言えない	0
④	やや行き詰まったときがあった	0
⑤	何度も行き詰まった	0
⑥	その他	0

→どのようにすれば、より活発な討議が出来ると思いますか。下欄にお書きください。

○年配の方には専門用語の説明が必要だった
○私が司会でうまくできなかった
○簡単にディスカッションの進め方を話して説明し、ひな形をモデルとして見せると付箋の貼り替えが少なくなると思う。
○問題や議題の方向性がブレることがあった為、進行役等大切な所は目立つように明記しておく必要がある。
○スタッフの進行が有りスムーズに
○参加者が4名だったので、あとあ、2名多いほうがより活発になったと思う。

- 市民どうしの話し合いが、特別な一日ではなく、普段から少しずつ進むとよいと思いました。
- 声が聞こえやすくなる工夫があればいい
- 同年代を何人か同じグループにしたら話しやすくなると思います。
- 人と人との間をつめて4～5人くらいにする。声が聞こえずらい時がある。
- 司会進行役の方の技量が重要
- 自分のグループはとても楽しく進行
- 自分から意見を言う
- 進行役が不慣れな点が改善点と思いました。討議のステップ、その先が見えにくく議論の深まりをさまたげてしまっているのではないかと思います。

設問 3, 討議の際、平均して何回くらいお話しされましたか (○は1つ)		
①	10回以上	4
②	7～9回	5
③	4～6回	14
④	1～3回	6
⑤	0回	0
⑥	わからない	1

設問 4, 市民討議会ではじめて顔を合わせる他の市民との会話について、どのように感じましたか (いくつでも○)		
①	さまざまな考え(発想)が聞ける楽しさ	25
②	さまざまな世代の意見が聞ける楽しさ	27
③	同じ茅ヶ崎市民としての共感や連帯感	20
④	はじめて会う人との会話における抵抗感	3
⑤	意見を言うのになれておらず、話しにくい感じ	1
⑥	その他	1

設問 4, ⑥その他
○初めての経験でしたが勉強になりました

設問 5, 今後、同様に市民討議会の案内が届いた場合、何を条件に参加を決めますか (いくつでも○)		
①	日程	17
②	内容・テーマ	13
③	謝礼の有無と金額	1
④	案内があればぜひ参加したい	19
⑤	条件を問わず参加しない	1
⑥	その他	0

設問 6, 開催時間についてどのくらいの所要時間が望ましいと思いますか (○は1つ)		
①	1 時間程度	0
②	2 時間程度	7
③	3 時間程度 (今回同様)	23
④	4 時間程度	0
⑤	5 時間程度	0
⑥	その他	0

設問 7, 市民討議会に参加して、謝礼の必要性について、どのように思いましたか (○は1つ)		
①	必要 (Q7-1 へ)	7
②	不必要	22

設問 7-1, Q7 で「1. 必要」と選択した方は、どの程度の謝礼が望ましいと思いますか (○は1つ)		
ア	謝礼 1000 円	0
イ	謝礼 3000 円	2
ウ	謝礼 5000 円	1
エ	謝礼 10000 円	0
オ	謝礼品 1000 円程度	2
カ	謝礼品 3000 円程度	2
キ	謝礼品 5000 円程度	0
ク	謝礼品 10000 円程度	0

設問 8, デジタル化により、もっと便利になると思う分野について教えてください (いくつでも○)					
①	子育て・教育	13	⑥	環境・衛生・リサイクル	12
②	福祉 (高齢者・障がい福祉等)	18	⑦	医療・健康	20
③	文化・スポーツ	10	⑧	行政事務 (各種申請事務の効率化、保有するデータの公開等)	17
④	防災・防犯	20			
⑤	公共インフラ	15	⑨	その他	2

設問 9, デジタル化で期待することは何ですか (いくつでも○)		
①	届出や申請に必要な添付書類が減る	22
②	電子申請により、届出や申請のために窓口に出向くことが不要になる	25
③	オンライン決済や窓口でキャッシュレス決済ができる	10
④	災害発生時の緊急情報受信、被害・安否情報のやりとりができる	24
⑤	健康診断の結果・医療機関の受診情報・処方内容をインターネット上で確認できる	12
⑥	自分に合った情報が送られてくる	13
⑦	行政が保有するデータを加工・利用できる (オープンデータ・匿名加工情報など)	3
⑧	情報通信機器の操作の支援や、ICTの講習会が受けられる	9
⑨	その他	0

設問 10, デジタル化が進む中、不安なことはありますか (いくつでも○)		
①	ウイルスやなりすましなどセキュリティ上の脅威や、情報漏洩が起きやすくなるのではないかと	20
②	情報弱者が置き去りになり、情報格差が広がるのではないかと	18
③	コミュニケーションがなくなり人とのつながりが希薄になるのではないかと	10
④	著作権や個人の権利が侵害されやすくなるのではないかと	8
⑤	特に不安はない	2
⑥	その他	1

設問 10, ⑥その他	
○自分に合った情報がうまく探せるかとかうまく使えるかなど。	

設問 11, 茅ヶ崎市のデジタル化についてご意見がございましたら教えてください	
○ふるさと納税で茅ヶ崎で使える e コイン	
○デジタル化は人を幸せにするツールであり、デジタル化=Happy ではないと考えます。Happy はアナログ・リアルであり、「家族で過ごす時間」「綺麗な景色」「美味しい料理」等、人それぞれ異なるリアルだと考えます！	
○便利になるのはうれしいですが、人とのつながりを大切にしていってほしいです。	
○是非貢献したいと思う。但、どのように協力、貢献をすればいいのかわからないのが歯がゆいです。今回の討議自体とても勉強楽しく参加させていただきました。	
○老若男女の皆さんが、平等にサービスを受けられる仕組みを作ってほしいです。	
○デジタル化があくまでも手段あるいはツールに過ぎないことに留意して進めていただきたい。	
○アナログな部分も残しつつ、役所手続きなどはデジタル化したら便利になると思います。	
○デジタル化は深くするのではなく、広くして欲しい Freewifi を茅ヶ崎で100%にひろめて、タブレットのかしだしや講習をしてすべての人にデジタルを広めて欲しいです。	
○行政の方含め我々市民も一緒になって進めていけたらイイナと思います。	
○年齢に関係なく誰にでもできるようになればいいなと思います(必要な限りで)	
○IT 業者任せにならないように施策を進めてください。市民の IT 知識の高い人の意見も吸い上げて進めていただきたい。	

- パブコメ用資料を期待して待ってます。
- 本日の討議の通り
- デジタル化だけに焦点を当てずにコミュニケーションも大切にする。
- 他の市に遅れを取らないではなく、モデルケースとなる位の推進力、気持ちでとりくんでほしいと思います。本日はありがとうございました。
- 諸申請のデジタル化は大いに結構ですが事前の十分な説明とやり直しのできるシステム
- 市立病院のデジタル化の推進、医療判断への AI の活用
- 市役所に出向かなくても NET で済むように

(3)不参加者アンケート 集計(有効回答数438)

(※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しない)

設問 1, 年代 (○は1つ)		
①	20歳代以下	90
②	30歳代	68
③	40歳代	90
④	50歳代	71
⑤	60歳代	54
⑥	70歳代	36
⑦	80歳代	28

設問 2, 性別 (○は1つ)		
①	男性	140
②	女性	290
③	その他	0
④	回答しない	4

設問 3, 市民討議会について、知っていましたか (○は1つ)		
①	よく知っている	5
②	少し知っている	16
③	言葉を聞いたことがあった	78
④	初めて知った	336

設問 4, 市民討議会の案内が届いたとき、どのように感じましたか (○は1つ)		
①	面白そうに思った	106
②	不思議に思った	168
③	分からない	153
④	その他	21

設問 4, ④その他		
○良いなと思いました		
○市民の声が市政に届くのであれば良いことだと思う		
○討議会開催の趣旨は良いことと思った		
○他人事の様思った		
○面倒くさいと思った 2人		
○アンケートにとまどった		
○本当に無作為か疑問に思った		
○ただ単にこういうのがあるんだなと思った		
○驚いた		
○存在を知らなかったのが驚いた		
○なんだか分からなかった。		
○何じゃこりゃ?と思った		
○急になんだろう		
○へえーって感じです。		
○怖かった		
○自分でいいのかと思いました		
○なぜ選ばれたのかと思った 2人		
○反映されなければ意味のない声になってしまう		
○討議の結果が生かされるのだろうかと思った		
○紙のむだ、2200人送付してむだ、広報に載せて抽選でいいのでは?		

設問 5, スケジュールについて (いくつでも ○)		
①	3時間では長時間に感じる	122
②	3時間を費やすことはできない	91
③	土・日曜日は都合が合わない	111
④	今回は都合が合わない	206
⑤	その他	31

設問 5, ⑤その他	
<input type="checkbox"/>	良いと思います 2人
<input type="checkbox"/>	遠い
<input type="checkbox"/>	リアル参加はめんどくさい
<input type="checkbox"/>	育児世帯としてはオンライン参加も可能にしてほしい
<input type="checkbox"/>	会場に行くには難しい
<input type="checkbox"/>	3時間の内訳を知りたい
<input type="checkbox"/>	自分にとって利益があるものであれば3時間でも長く感じることは無い
<input type="checkbox"/>	体調不良のため
<input type="checkbox"/>	コロナ禍なので、人が多くいる移動や集まりは控えたい。
<input type="checkbox"/>	コロナの感染拡大の為、密になるので
<input type="checkbox"/>	子供がいるので 3人
<input type="checkbox"/>	子供がいる人の3hはムリ!
<input type="checkbox"/>	子供の予定に合わせて動くので土日に自分の予定は入れられない
<input type="checkbox"/>	夫が子供たちを一人で見れないため参加できない
<input type="checkbox"/>	もっと早く連絡してほしい
<input type="checkbox"/>	都合が合わない
<input type="checkbox"/>	平日も基本的に予定があるので都合が合わない
<input type="checkbox"/>	土日休みだが既にほかの予定が入っているため参加が難しいです
<input type="checkbox"/>	話し合うことは良いことに思います。
<input type="checkbox"/>	いつも都合が合わないので参加したくない
<input type="checkbox"/>	都合はつくが、だめ
<input type="checkbox"/>	本当に市民の声をひろうのであれば、3時間で足りないのではと思った
<input type="checkbox"/>	日程、時間等は特に問題ありませんが、もう少し良い時期に
<input type="checkbox"/>	年なので無理です
<input type="checkbox"/>	年齢80歳代、50代なら出かけられる
<input type="checkbox"/>	介護の為都合が合わない
<input type="checkbox"/>	体調不良にて不参加 3人
<input type="checkbox"/>	車椅子生活で動きが悪い
<input type="checkbox"/>	歩行困難で外出できない
<input type="checkbox"/>	体力的に3時間は無理です
<input type="checkbox"/>	出席したいと思ったが必着日が過ぎてしまった

設問 6, 今回参加されなかった理由は何ですか (いくつでも○)		
①	日程が合わなかったから	254
②	興味のないテーマだったから	71
③	行政の事業には興味がないから	21
④	面倒だから	78
⑤	謝礼がないから	24
⑥	その他	101

設問 6, ⑥その他	
○	テーマがわからない 2人
○	意見を言ったり求められるのは苦手
○	初対面の方との討議が、合わないため。
○	ディスカッションではなく、個別に意見を述べる、インタビューに答える、の方が自分の意見を言いやすい。ディスカッション形式だと空気を読んで喋らないといけないので発言しにくい
○	話せる自信がないから 2人
○	40名もいると発言がしにくそうなので
○	人前で意見を言う事に抵抗があるから
○	人見知りだから
○	テーマが少し大きく、あいまいに感じたため
○	子供の教育や子供たちを大切にしてくれるようなテーマなら参加します。
○	テーマに関して、市の具体的な考えを簡単に記してほしい。テーマが大きすぎて考えをまとめきれない。
○	デジタルで未来をより自由に豊かに便利になって何？もう少し説明が欲しかった
○	むずかしいテーマのことで分からない為
○	参加してみたい気持ちもありましたが内容的に自信がないから
○	お役に立てるとは思えない。
○	自分が適していると思わなかったから
○	よくわからないから①デジタル化というテーマのあいまいさ②声がどこまで反映されるのか(一応聞くよ、なのか、その声をベースに本格的に変化があるのか)
○	このテーマに関する知識がない 3人
○	デジタルは出来ないのでは 2人
○	デジタル機器を十分に活用出来ていないから 2人
○	デジタルの勉強が充分でないのでは
○	年齢的にこのテーマに入っていけない
○	高齢だから 6人
○	体調が悪いから 5人
○	病気に関する理由 4人
○	介護の為都合が合わない 2人

- 歩けない
- 体力がない
- 足、腰が悪く、歩行困難 耳も悪く聞こえない
- 知的障害があるため無理
- 難聴のため人の話がよく聞き取れないから
- 障害者施設入居中の為
- 身体的に出席できない
- 歩行困難で外出できない
- 今、車いすで移動するのが大変だから
- 招待頂いた本人は、知的障害があり討論参加するのは無理です。かわりに彼女の代弁者として母親が参加することは可能でしょうか？
- 子供がいるため 7人
- 0歳児がいるため、日曜に3時間を費やすのは難しいため。 2人
- 小さい子供もいる中で中々気軽には時間を作れないことも理由の1つ
- 子育て中で子供を親に預けるなどしてまで参加する気にはなれないので。
- 子育て中で子どもを見る人がいない(11ヶ月)
- 小さい子が2人いる為、子供を連れて行って良いのかわからない。連れて行けない場合、面倒を見る人がいない。
- 子供の予定に合わせて動くので土日に自分の予定は入れられない
- 子供の習い事など土・日行うこと多いので
- 仕事 6人
- 単身赴任中のため
- 仕事がシフト制で当日に休みがとれるか
- 自営で食堂を営んでいるため無理です。
- 休日がほぼ無いので時間が取れない。
- 忙しくて時間が作れないから 3人
- 貴重な休日で3時間は長い
- 平日希望
- 出席したいと思ったが必着日が過ぎてしまった
- 新型コロナウイルス感染症に関する理由 15人
- 日頃、考えたことがなく、また今年中に茅ヶ崎市を出る予定の為自身の意見は参考にならないと思いネットをしないのでわかりません
- 7月末で転出するため
- 引越してきて2年コロナの件もあり外出できず地域のことや茅ヶ崎市のことがよくわかっていないため！
- それよりも中学校給食を開始してほしい
- デジタル化もちろん大事ですが、行政の縦割りの部分改善急ぐべきと思う
- この先もずっと茅ヶ崎に住むかわからないため
- 存在自体を知らなかった
- 自宅新築工事中
- 家族が亡くなったばかりで気持ちがない

設問 7, 次回、このようなイベントの案内が届いたら、どうしますか (〇は1つ)		
①	日程が合えば、参加する	82
②	興味のあるテーマならば参加する	114
③	謝礼等があれば参加する	38
④	できれば参加したくない	113
⑤	その他	33

設問 7 で③謝礼等があれば参加するを選択をした方の望ましい謝礼等 (〇は1つ)		
ア	謝 礼 1,000 円	13
イ	謝 礼 3,000 円	29
ウ	謝 礼 5,000 円	15
エ	謝 礼 10,000 円	11
オ	謝礼品 1,000 円程度	3
カ	謝礼品 3,000 円程度	2
キ	謝礼品 5,000 円程度	0
ク	謝礼品 10,000 円程度	1

設問 7, ⑤その他
<p>○謝礼はいらない 2人</p> <p>○興味があるテーマなら参加することを考える 2人</p> <p>○その時の状況による</p> <p>○日程と家族との時間を考慮して参加できそうであれば参加する (テーマも興味があれば)</p> <p>○Zoom でのオンラインで1時間の開催なら参加する</p> <p>○オンラインでも参加可能にしてほしいです</p> <p>○顔出しなしでも可オンライン等であれば、参加するかもしれません</p> <p>○コロナが拡大していて不安. ZOOM 等であれば可</p> <p>○コロナが落ち着いて、交通費として 1000 円ぐらいの支給があれば</p> <p>○コロナの感染拡大の為、密になるので</p> <p>○子供を連れて行って良い場合は参加できる。</p> <p>○子供の手が離れて自分に余裕ができたなら参加してみたい</p> <p>○難しいと思う。</p> <p>○参加できません 2人</p> <p>○高齢のため出席が難しい 3人</p> <p>○体調によってわからない 5人</p> <p>○歩けないから</p> <p>○最近疲れやすいので無理だと思います</p> <p>○耳が悪いので聞こえないので参加しない</p> <p>○ディスカッション以外でしたら出来る限り協力したいです</p> <p>○人と会いたくない 2人</p> <p>○転出するので参加不可</p> <p>○事前に沢山の意見が集まっている前提に必要性を感じる</p> <p>○土日、日程調整できない</p> <p>○公約の実行と市政に反映を望んでいます</p> <p>○交通費は出して欲しい、個人情報知られているため</p>

○市内のお店で使えるクーポンのようなものが頂けると助かります
○分からない 3人

設問 8, インターネット利用の際に使用する機器はなんですか (いくつでも○)

①	パソコン	228	④	フィーチャーフォン (ガラケー)	7
②	タブレット端末	96	⑤	その他	13
③	スマホ	378			

設問 8, ⑤その他

○機器を持っていない 5人	○TV 2人
○インターネットはしない 5人	○なし 4人
○使用できない 2人	○ 아이폰

設問 9, インターネットを利用する場所はどこですか (いくつでも○)

①	自宅	398	⑤	図書館	10
②	職場	186	⑥	公民館・コミュニティセンター	5
③	学校	33	⑦	その他	45
④	飲食店	77			

設問 9, ⑦その他

○電車など 11人	○病院
○外出時 6人	○入居している施設
○通勤時 6人	○子供の家
○駅 2人	○ネットカフェ
○バス 2人	○カフェ
○移動中 2人	○公園など屋外
○待ち時間に車の中で	○全て
○公共交通機関	○wi-fi 環境があれば何処でも
○自動車	○中々覚えるのに時間が (使えたら便利ですが)
○商業施設	

設問 10, インターネットを利用する目的はなんですか (いくつでも○)

①	電子メールの利用	289	⑧	動画投稿・共有サイトの利用	123
②	オンラインショッピングの利用	283	⑨	eラーニングの利用	44
③	SNSの利用	263	⑩	地図・交通情報の提供サービスの利用	260
④	施設や航空券等の予約	171	⑪	ホームページ閲覧 (情報収集)	287
⑤	インターネットバンキングの利用	114	⑫	電子政府・電子自治体の利用 (e-Tax 等の電子申請・公共施設の予約等)	86
⑥	テレワーク	60			
⑦	オンライン会議・授業	105	⑬	その他	123

設問 10, ⑬その他

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 全て | <input type="checkbox"/> オンライントレード |
| <input type="checkbox"/> 生活するために使っている | <input type="checkbox"/> 仕事 |
| <input type="checkbox"/> ネットサーフィン | <input type="checkbox"/> 仕事の参考になるのがあるか検索する |
| <input type="checkbox"/> ニュース | <input type="checkbox"/> 仕事求人 check |
| <input type="checkbox"/> 速報ニュース確認 | <input type="checkbox"/> ゲーム |
| <input type="checkbox"/> 自分の好きな事, 物を検索するため | <input type="checkbox"/> 記録 |
| <input type="checkbox"/> 動画視聴, 天気予報, LINE | <input type="checkbox"/> 辞書 |
| <input type="checkbox"/> ネットバンキング | <input type="checkbox"/> 百科事典として使用 |
| <input type="checkbox"/> 公民館, パソコン教室に行っていたが, 現在は数年やってなかったから, ワード, エクセルも出来なくなった | |
| <input type="checkbox"/> 機器を持っていない | |

問 11, 利用している SNS はなんですか (いくつでも○)

①	Facebook	102	④	Twitter	138
②	Instagram	182	⑤	その他	25
③	LINE	358			

設問 11, ⑮その他

- | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> Youtube 3人 | <input type="checkbox"/> Discord |
| <input type="checkbox"/> Tiktok 2人 | <input type="checkbox"/> note |
| <input type="checkbox"/> BAND | <input type="checkbox"/> Voicy |

問 12, 茅ヶ崎市の手続やイベント等の情報を入手する手段はなんですか (いくつでも○)

①	市の公式 LINE	121	⑥	市のホームページ	213
②	市の公式 Facebook	7	⑦	口コミ	38
③	市の公式 Twitter	13	⑧	地元情報誌・情報サイト	74
④	市の公式 Instagram	9	⑨	パンフレット・チラシ・ポスター	101
⑤	広報ちがさき	231	⑩	その他	18

設問 12, ⑩その他	
○回覧板 3人	○SNS コミュニティ
○家族から 2人	○LINE でメルマガっぽく送ってもらえると確認しやすい
○母から	○情報収集したことはない
○市役所に直接うかがう (近いので)	○情報入手する手段がない
○市議からの情報	○cheega
○市のメール	
○何かの用事で市役所等に行った際に、ポスターなどがあれば見る程度。	

問 13, 茅ヶ崎市が実施している次の情報化施策のうち、利用したことがあるものを選択してください (いくつでも○)					
①	施設予約システム	63	⑦	市の公式 LINE	10 3
②	公衆無線 LAN	12	⑧	電子申請・届出サービス	60
③	オープンデータ	3	⑨	地理情報システム (まっぷ de ちがさき)	18
④	ちがさきメール配信サービス	51	⑩	マイナンバーカードを活用したコンビニ交付サービス	45
⑤	AI チャットボット	3	⑪	市役所窓口における手数料のキャッシュレス決済	7
⑥	動画配信	10	⑫	どれも利用したことがない	19 8

設問 13, どれも利用したことがない理由		
ア	実施していることを知らなかった	96
イ	実施していることは知っていたが、必要がなかった	67
ウ	利用したいが機能が不十分で使えなかった	8
エ	その他	14

設問 13, エその他	
○利用する機会がない	○どうやって利用するか知らない
○利用する機会なかった	○IT 音痴なので
○知らないし必要なかった	○7 以外知らなかった
○よくわからない内容がある	○使えない
○何もわからない	○ガラケーの為
○わからない	○理解できていない
○どれもやらない	○セキュリティが不安
○特に利用しなくても不自由を感じたことはない	

設問 14, 全ての人が必要な市の情報を必要なときに得ることができるようになっていると思いますか (○は1つ)					
①	はい	76	②	いいえ (2その理由をア～エから選択)	341

設問 14, いいえの理由 (○は1つ)					
ア	市の情報発信手段が少ないため	35	ウ	必要な情報にたどり着くまで時間がかかるため	69
イ	情報機器を持っていない人や使い方がわからない人がいるため	196	エ	その他	12

設問 14, ④その他					
<input type="radio"/> わからない 8人 <input type="radio"/> 分かりにくい <input type="radio"/> 興味が薄いため <input type="radio"/> 市の情報に興味がないため <input type="radio"/> 必要な情報がそもそも載っていないことがある。チャットボットは役に立たなかった。 <input type="radio"/> 必要な情報が載っていないこともある <input type="radio"/> 健常者以外の方全ての方には伝わらない情報発信しかしていない為 <input type="radio"/> 必要なところにたどり着けても解決せずふりだしになりがち <input type="radio"/> 必要な情報はどこかに載っていると思うがたどり着くまでに時間がかかる <input type="radio"/> 情報発信されていることが伝わってこない <input type="radio"/> 発信頻度、興味を引く内容を考える必要性を感じます。 <input type="radio"/> 誰でも使える WI-FI が市中に設置されていないため <input type="radio"/> IT リテラシーが低すぎる <input type="radio"/> 認知が足りない					

設問 15, デジタル化により、もっと便利になると思う分野について教えてください (いくつでも○)					
①	子育て・教育	186	⑥	環境・衛生・リサイクル	97
②	福祉 (高齢者・障がい福祉等)	129	⑦	医療・健康	220
③	文化・スポーツ	74	⑧	行政事務 (各種申請事務の効率化、保有するデータの公開等)	205
④	防災・防犯	198			
⑤	公共インフラ	101	⑨	その他	97

設問 15, ⑨その他					
<input type="radio"/> 全て 3件 <input type="radio"/> 選挙 <input type="radio"/> 使い方と工夫次第で色々なことに利用できると思う <input type="radio"/> 職員の人件費を削減した分を市民へ還元できる					

- まだアナログも残してほしい
- 両立してくれないと年寄りが不便
- 何もかもデジタル化だと高齢の人などは困ると思います
- このアンケートを紙で実施している集計は人力ですか外注していますかすべてがムダです
- 全過程にネットが使えるようにならないとこのアンケートの意味がない
- わからない 5件
- 特になし

設問 16, デジタル化で期待することは何ですか (いくつでも○)

①	届出や申請に必要な添付書類が減る	278
②	電子申請により、届出や申請のために窓口に出向くことが不要になる	306
③	オンライン決済や窓口でキャッシュレス決済ができる	143
④	災害発生時の緊急情報受信、被害・安否情報のやりとりができる	255
⑤	健康診断の結果・医療機関の受診情報・処方内容をインターネット上で確認できる	140
⑥	自分に合った情報が送られてくる	114
⑦	行政が保有するデータを加工・利用できる (オープンデータ・匿名加工情報など)	37
⑧	情報通信機器の操作の支援や、ICTの講習会が受けられる	41
⑨	その他	18

設問 16, ⑨その他

- 全て
- どこまでデジタル化が進んでいるか不明。しかし市役所に行くと多くの手続きで待つため受付のデジタル化等あれば有難い。既に実施していたら申し訳ない。
- どの分野もシステムが複雑にならない限り不便になる事はないと思う
- 現システムを簡単に使用できること
- 特に防災は緊急性が高いので優先度も高いと思う
- 選挙投票
- 選挙をネット投票できるようにして投票率を上げる。そのサイト内に候補者・政党の政策等も簡潔にわかりやすくまとめられていればなおよいと思います。
- イベント
- 市民討議会などのオンライン化
- 個人情報の保護。本当に大丈夫か心配になります。
- 弱者対策も忘れずに！デジタル化させるのは無理な者もいる
- 市内の太陽光発電の発電状況をモニタリングし、電力のひっ迫状況が誰でもわかるようにする
- 使い方と工夫次第で色々なことに利用できると思う
- 土日祝でも行政手続きができるようになること
- 小中学校不登校児へのオンライン授業ができるようにしてほしい。他県と比べて遅れていると感じます。
- 教育、不登校児が学校に行かなくても教育を受けられるようサポート

- 子育て系講習やセミナーのオンライン配信、アーカイブ希望
- 税金のムダです
- わからない 6人
- なし 2人

設問 17, デジタル化が進む中、不安なことはありますか (いくつでも○)

①	ウィルスやなりすましなどセキュリティ上の脅威や、情報漏洩が起きやすくなるのではないか	318
②	情報弱者が置き去りになり、情報格差が広がるのではないか	246
③	コミュニケーションがなくなり人とのつながりが希薄になるのではないか	106
④	著作権や個人の権利が侵害されやすくなるのではないか	112
⑤	特に不安はない	37
⑥	その他	17

設問 17, ⑥その他

- 1 に関しては便利と引き換えにかなり不安に思っています。
- 自分で使いこなせず
- 高齢者向けの講座等があると良い
- 高齢の人のデジタル機器の講習に税金を使ってほしくないので、デジタルに対応できない人のための窓口は残してほしい
- デジタル化は大事ですが、アナログ人間がいることを忘れないで。質問がデジタル人に対しての内容になっていると思う
- 移行期の問題として、情報機器についていけない者の救済は？機器音痴、視力、痴呆、カタカナ又は略されたアルファベット文字が意味不明・デジタル化すべきだが、自分についていけない→置いて行かれる。情報不足になる。
- デジタル化は便利なことも多いが弊害も多いと思う
- 全てスマホ等で済ませていた場合、情報機器が故障した場合、何もできなくなる可能性がある
- 電波しょうがい (KDDI のような) が今後も起きると思う。太陽フレアも心配です。
- みずほ銀行のように障害事故が多発し活用したい時にいつも障害事故で活用できなくなる
- 犯罪やトラブルに子供が巻き込まれたとしても見えない
- USB 等での個人情報を持ち出しによる物理的な情報漏洩
- サギ、だまされる
- SNS で知り合った人とのトラブルが起きないか
- 協力金などでしかなく使っているが LINE って他国への情報漏洩が問題になっているのに自治体を使うって正気ですか???
- ニュースで情報漏洩の事件が度々あるので、セキュリティ対策が不安です。個人情報を気安く扱わないでいただきたいです。
- 市役所の担当の人的ミスで誤振込のようなことがおこると思う、外注にしてほしいそして正しい業者を選べるのか
- 個人情報が洩れる

- 特に預かり保育償還払いについても払い戻しを受けるために市役所へ行く必要があり、こういった手続きをオンライン化して頂きたいです。
- 場所によっては慢性的に渋滞が発生して自家用車の利用にストレスを感じているため交通状況に応じて自動的に信号の切り替えを調整して頂きたい
- 結局欲しい情報の共有や公開はないだろうから
- 役員さんご苦労様です。茅ヶ崎が良くなる事お願い致します
- わからない 3人

6 市民討議会講評

まず、茅ヶ崎市民討議会では無作為に抽出された市民の方々がされるということで、討議テーマに基づく意見がどれほど出てくるのか、議論の熱量は上がるのかという不安は見事に裏切られ、どのグループも制限時間では足りないほどの議論が繰り広げられていました。

茅ヶ崎青年会議所メンバー、および文教大学の学生によるファシリテーションも相まって、茅ヶ崎市民が茅ヶ崎の未来を真剣に考える3時間となりました。

討議1の「わたしの“デジタル”」では、幅広い世代の参加者が身の回りの「デジタル」を紹介するというグループワークを実施しましたが、スマートフォンを挙げる方もいらっしゃれば、テレビのデジタル放送を挙げる方もいらっしゃいました。普段何となく使っている「デジタル」というキーワードも、人によって捉え方は異なり、現在必要とされている「デジタルトランスフォーメーション (DX)」を進めるためには「デジタル」の共通理解が必要だということが見えてきました。

討議2の「“ちが×テック”でステキなまちへ」では、テクノロジーが茅ヶ崎をどう変わると良いのかグループで議論しました。より良い未来を構想するためには、現在の制約を外したバックカasting思考が必要であるため、前段に私から「海外のステキな事例」と題してデジタル先進国であり幸福度が高いとされるデンマークのデジタル化事例を紹介させていただきました。グループワークでは「どう改善するか」よりむしろ「どうなるとハッピーか」という軸で議論が進み、参加者それぞれユニークな視点で「ステキな茅ヶ崎」の理想が語られていました。

最後に、海外の自治体DX事例にある共通点は、市民が主体性を持ち、変化を肯定的に受け入れているという点です。茅ヶ崎がより良い未来に向けて変化する時に、今回のような市民参加の討議会は非常に有効な場になると思います。また、人口が減少する社会における自治体のあり方として、市民参加や公民連携は欠かせないものとなります。これからより多くの市民の方々に参加いただき、皆さんが理想とする「ステキなまち茅ヶ崎」が実現されることを願ってやみません。

社会構想大学院大学 准教授
株式会社イノベーター・ジャパン 代表取締役社長
渡辺 順也

茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会の動き

- (1) 第1回実行委員会（4月22日）
テーマ候補から実施テーマを選定。実施に向けた実行委員会等スケジュールの検討。コロナ禍での開催方法の検討。
- (2) 第2回実行委員会（6月22日）
開催時間、全体テーマ、定員、コロナ禍での開催方法の検討。
- (3) 第3回実行委員会（6月30日）
開催時間、全体テーマ、定員、コロナ禍での開催方法の決定。各討議テーマ・キーワード、情報提供者、事前アンケートの検討。
- (4) 第4回実行委員会（7月27日）
各討議テーマ・キーワード、情報提供者、事前アンケート、情報提供者、当日プログラムの決定。
- (5) 第5回実行委員会及び模擬討議会（8月25日）
模擬討議会を踏まえた調整。
- (6) 令和4年度市民討議会開催（9月11日）

令和4年度「市民討議会」報告書

令和5年3月発行

編集・発行 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会